

令和4年度 多摩区町会連合会及び コミュニティ活性化促進委員会合同研修会 「子育て世代を巻き込んだ取組やマンション自治会 の運営について」を開催しました

令和5年2月11日(土)に、多摩区役所で「令和4年度 多摩区町会連合会及びコミュニティ活性化促進委員会合同研修会」が開催されました。多摩区町会連合会では、住民組織のリーダーとして活躍する上で必要な知識や見識を養うと同時に、町内会・自治会及び地域相互の親睦と地域コミュニティの活性化促進を図ることを目的として研修会を開催しています。

今年度は、「子育て世代を巻き込んだ取組やマンション自治会の運営について」をテーマに、講師を招いてお話を伺うとともに、意見交換を実施しました。



■子育て世代を巻き込んだ町内会でのイベント実施や参加の促進について：宮前まち倶楽部

まず、宮前まち倶楽部代表の辻 麻里子さんから2つの事例についてお話しいただきました。

1つめは、宮前区の「ご近助コンシェルジュ」についてです。コンシェルジュは案内人という意味で、9名の多様な背景をもつ40代のコンシェルジュが、町内会・自治会の活動を、子育て世代の目線で取材、執筆、発信しています。記事は「みやまえご近助さん」というサイトで見るができます。「いつも花がきれいだと思っていた。婦人部がやっていたなんて。いつか私も婦人部に入ります!」、「運動会開催は準備から取材。イベントは当日だけじゃない。」など、新鮮な発見に満ちた記事が書かれています。

2つめは、「公園ミニマルシェ」についてです。町内会・自治会役員が多忙なため、新しい試みは昨今、ハードルが高くなっています。そこで、地域の団体や有志と一緒にやることで、新たな取組ができるのでは

ないかと考えて、昨年12月に町内会の公園清掃の日に合わせてイベントを開催したそうです。多くの団体が参加するとともに、子育て世代もちょっとしたお手伝いから始めてみたいと思うきっかけになったようです。



公園ミニマルシェの様子(辻さんの事例報告資料より)



←「みやまえご近助さん」
はこちらから

■マンション自治会の運営について:Brillia City 横浜磯子自治会

次に、Brillia City 横浜磯子自治会長の田形 勇輔さんからお話をいただきました。

人口 3,300 人、敷地面積は東京ドーム 2.5 個分という巨大マンションに、同自治会は 2017 年に設立されました。自治会への加入が物件購入の条件となっているため自治会加入率は 100%ですが、設立直後は役員の温度差があり、会議のための会議が繰り返されたそうです。そこで、BBQ のように楽しめる自治会にしようと改革を始め、今では中学生が役員になるなど、活気あふれる活動が行われています。

具体的には、総会の議案書を読みたくなる資料としたり、親子で楽しめる総会にしたそうです。コロナの



田形さんの事例報告資料より

間は、Jichikai TV という動画番組を手作りしました。また、昨年、3 年ぶりに開催したお祭りでは、192 人のボランティアの応募があったそうです。

役員やボランティアは時間や苦勞という「コスト」を払いますが、笑顔や感謝という「報酬」を得ることによって、まちが好きになっていくそうです。参加者の感想をていねいに集めて、役員やボランティアに伝えていくことが重要だとのことでした。

■多摩区コミュニティ活性化促進委員会の委員との意見交換

後半の意見交換では主に以下のような質問・意見交換がありました。

近藤会長: 中野島団地自治会は建て替えが終わり人の入れ替えがある。この時期へのアドバイスは？

辻 さん: 自治会だけで活動が難しい時は、まちの中で協力してくれる人に声をかけるといいのでは。

田形さん: 組織を温かく居心地よくすると、これから入ってくる人たちも入りやすくなると思う。

石山会長: 町会で新しい行事を実施する担い手をどうしたらいいか。また、タウンマネジメントとは？

辻 さん: 外部の市民活動団体と一緒に小さな取り組みを始めると、次につながっていく。ミニマルシエでは初めは有志が参加し、その後、町会の福祉部の活動になっていった。

田形さん: お金以外の報酬をしっかりと還元している。例えば、アンケートをメッセージ集として感謝の声を届けている。

遠藤会長: 子育ての会がやめてしまった。盆踊りは義務感でやっている。高齢者が町会をやめてしまう。どうしたらいいか？

辻 さん: 公園など外で見せるといいのでは。目で見るとためらっている人も参加しやすい。

田形さん: 自分たちがやりたいことをやる、を基本スタンスとしている。高齢者は役員になるのを恐れて町会をやめてしまうことがあるので、やりたい人が役員をやるようにしている。

大石会長: 50 世帯、100 人というマンションの自治会。高齢化したマンションはどうすればいいか？

田形さん: 子どもたちのためのことではなく、シニアのためにやりたいことをやってはどうか。

辻 さん: マルシエではスマホの使い方コーナーなどが人気。みなさんが必要なことを考えてはどうか。

2 年ぶりの研修会でしたが、事例報告をされたお二人やコミュニティ活性化促進委員会のおかげで充実した内容になりました。ご登壇、参加された皆様、ありがとうございました。

発行: 令和 5 年 (2023 年) 3 月

多摩区役所地域振興課

メール: 71tisin@city.kawasaki.jp

電話: 044-935-3133 FAX: 044-935-3391

〒214-8570 川崎市多摩区登戸 1775-1